

スーパーカーから 10tトラックまで……。
 こう表現したのは、大げさではない。
 あらゆるニーズに対応できる
 技術力と設備を整えてきた「eelup」では、
 ラッピングの可能性を広げてくれる”何か”を
 確かに感じる事ができた。

オリジナルデザインのリッピングが得意
 スーパーカーから
 10tトラックまで！



千 千葉県船橋市高瀬町……。
 「イールアップ」がショッ
 プを構えるそこは、東関東自動車
 道の谷津船橋ICから約500m
 ほどの、交通の便に優れた好立地。
 幕張メッセ国際展示場にもほど近
 くの、倉庫街の一角に成す。例え
 遠方から訪れたとしても、まず迷
 うことはないで、その点は安心
 して欲しい。
 創業12年、看板屋として事業を
 スタートし、法人向けの送迎バス
 や大型トラック、さらにはモノ
 レールなどにもラッピング施工を
 行なって来たという同社。そして
 近年の高まるニーズに出来るよう
 に、個人の車両への施工にも力を
 入れているという。

魅惑のスーパーカー・ラッピング
Wrapping
new
ground
 #7/
eel up



取材当日、H2を施工していた代表取締役の高橋力さん。VWビートルやフェラーリ・テストロッサなどと、クロム系カーラッピングも実績十分である。



社内では、オリジナルデザインのラッピングを実現するため、デザイナーを常駐。マットカラーやカーボン調などと、さまざまなカラーのラッピング用フィルムも常時在庫。豊富な設備と広大な作業場も同社の魅力でもある。従業員も多く、それぞれの担当のプロフェッショナルが揃っている。写真左は、当日取材を担当して頂いたカーラッピング事業部の渡邊宏之さん。



Wrapping new ground #7 feel up

「弊社の社員に元整備士がいるためパーツの取り外しなども対応可能です。またデザイナーも3名常駐しておりますので、オリジナルデザインのラッピングのご相談にもお応えいたします」と話すのは、同社のカーラッピング事業部を担当している渡邊宏之さん。

その作業場は、なんと10トトラックを収めることが可能なほど広大（施工で普通車が3台入ったこともあるという）。これまでも送迎バスやイベント用トラックへの施工実績も豊富で、ラッピングのみならず大型トラック（カーゴ部分）にも施工可能な、カラーインクを直接吹き付けるエアブラシ式の「MAX!!ペイント（トラック専用）」の設備も完備する。

単色フィルムのカーラッピングはもちろん、インクジェットプリントによるオリジナルデザインのラッピングなども可能で、それらのデザインから出力、そして施工までと、こうした工程をすべて自社で完結できるため、コスト面でも有利に働いてくれるという。さまざまな設備を揃え、車種問わずあらゆるニーズに対応できるのが「イールアップ」の魅力といえるだろう。

作例として数々の車両の写真を見せてもらったが、「ジーンズ」を全面に描いたワンボックスカーや、某シューズブランドの独特のラインが入ったキャンペーン用のハッチバック車、某パレルブランドのトラックなどと、カラフルかつユニークなデザインのものが多い。塗装では、ちょっと真似できそうもないそのデザイン力に、カーラッピングの可能性と奥深さを実感した。

またイールアップは、技術力に關してもお墨付きをもらっている。フィルムメーカーの3M社が実施しているカーラッピング施工技術認定制度「4-スター施工者認定システム」を取得。高い施工技術を保有しているという、ひとつの証明である。

これまでも、ベントレー、フェラーリ、メルセデス・ベンツ、BMW、ボルシェといった高級車&さまざまな設備、優れた人材が揃っている「イールアップ」。そして、数々のサンプルを拝見し、カーラッピングのさらなる可能性を感じさせてくれたスペシャルシヨップであった。



マットメタリック・チャコールやマットホワイトのベントレー。テストロッサはアトミックティールへ。キャデラック顔のスカイラインはマットブラック&クロムゴールドを。クロム系の施工も積極的に行なっている。



ジーンズをプリントしたシートを車両の全面に貼った1ボックスカー。ジェットスキーやパワーボードへの施工実績もある。こうしたデザイン物のラッピングもイールアップならではの出来るだろう。また、10tトラックはMAX!!ペイントの施工例だ。

インクジェットプリントや 大型ペイント機の設備も整え さまざまなニーズに対応する！

